

新型コロナ ワクチン接種情報



予約システムの改修により、1回目と2回目の予約が同時に出来るようになりました。また、コールセンターでの予約の際は、1回の通話で数人まとめた予約が可能です。また、副反応などを考慮し、ご家族は別日での予約などご検討ください。基礎疾患をお持ちの優先対象者は、かかりつけ医に相談されるか、お申出により予約開始予定日前の予約が可能となっています。下記サイトから申請してください。また、障害者福祉施設や学校・保育施設などの職員向けの優先接種も始まっています。浦和区役所へは北浦和駅よりシャトルタクシーが土日運行、浦和競馬場会場へは浦和駅西口、南浦和駅西口、東浦和駅よりシャトルバスが運行中です。ワクチン接種の進行状況は、7月20日現在、65歳以上の約80%が1回目、約51%が2回目を接種済みです。7月末までに2回目接種70%が目標。ちなみに、さいたま市関係の会場はファイザー社製、国・県の会場では武田/モデルナ社製ワクチンです。国や県の大規模接種会場で受ける場合、2回目をさいたま市の接種会場では受けられませんので、ご注意ください。お住まいの区以外でも予約可能です。1回目と2回目は、原則同じ会場での接種をお願いしています。名称が似ている医療機関に間違っして予約してしまうトラブルが頻発していますので、十分ご確認ください。

●接種券の発送と予約開始日(7月21日現在)

対象者	発送予定日	予約開始日時
55歳以上の方	発送済	受付中
50～54歳の方	発送済	8月10日10時～
40～49歳の方	発送済	未定
12～39歳の方	7月28日	未定

※不要なQRコードを手で隠すと読み取りやすくなります。



ワクチン接種案内
基礎疾患のある方

※Web予約のみ。コールセンターからの予約は不可。

※2回目接種日は、1回目接種時の3週間後が指定される。

●特設大規模接種会場

会 場	予約開始日	接種日	会場の受付時間
浦和競馬場 第1駐車場	受付中	6月29日から毎日	9:00～18:00
市営 桜木駐車場	受付中	6月21日から毎日	9:00～11:30 13:30～18:00

●民間特設会場 ※Web、コールセンター予約とも可。

会 場	予約開始日	1回目接種日	2回目接種日	会場の受付時間
ロイヤルパインズ ホテル浦和	7月27日 9時～	8月14日 8月15日	9月4日 9月5日	9:00～11:30 13:30～16:00
芝浦工大 大宮キャンパス	受付中	7月31日～ 8月8日	8月21日～ 8月29日	

ご意見・ご要望をお聞かせください

お名前 TEL

ご住所



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

新型コロナ 関連支援情報

●個人への支援

住居を失った方には住居確保給付金、会社都合で仕事を休んだ方には休業手当や休業支援金・給付金、新型コロナ感染症で仕事を休んだ方には傷病手当金などの給付制度があります。税金や公共料金が払えない方には、猶予または減免する制度もあります。また、文化芸能・スポーツ等指定行事の中止等の際のチケット代の払い戻しを放棄する場合での税額控除などもあり、下記ホームページなどご参照の上、担当窓口にご相談ください。

●事業者への支援

また、飲食店向けの県感染防止対策協力金は売上別の支援金となり、酒類販売事業者への協力金、宿泊事業者、交通事業者等への協力支援金が新設されました。詳細、申請は下記ご参照ください。



市・個人向



市・事業者向



県協力金



酒類販売事業者

さいたま市民憲章

おおらかな荒川の流れと、見沼田んぼが豊かに広がる武蔵野のみどりに
いだかれたさいたま市は、街道や鉄道のかなめとしてにぎわい、歴史を
かさねてきました。先人たちはここに集い、学ん、祈り、美しさと誇り
をたたえた独自の文化を育て、教育やスポーツのさかんな風土を培ってきま
した。このまちを誇りとし、ともに時をかさねる私たちさいたま市民は、だれも
が自分らしく生きてゆける社会を築きたいと願い、このまちを未来につなぐ
確かな道しるべとして、ここにさいたま市民憲章を掲げます。

私たちは、

まちの歴史や伝統を受け継ぎ豊かにはぐくみ、明日の世代に伝えます。

小さないのちの大きな未来を信じて、子どもをみんなで支えてゆきます。

みずから学び育業をみぎき、新たな挑戦を志し、自分を磨きつづけます。

深く思いやり、広く理解し手を取りあって、ちがいを力にしてゆきます。

空も水も、草木も花も風山も、ともにある美しい都市を創ってゆきます。

市制施行20周年記念
令和3年7月1日制定

市制施行20周年を機に、「さいたま市民憲章」が審議会、市民アンケート、タウンミーティング、子どもの提案、パブリックコメント等を経て7月1日に制定された。

さいたま市民憲章制定

第40回 市政報告会

北浦和 クイーンズ 伊勢丹 3階

日時: 令和3年 8月22日(日)
18:30～19:45

入場無料

zoom
オンライン
参加可

会場: 北浦和カルタスホール

第1会議室(北浦和1-7-1)



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2021.8 vol.45

浦和つ子

新しいさいたま市が始動！ ～隈研吾氏によるまちづくりも始まる～

皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか？新型コロナウイルス感染が収束せず、まん延防止等重点措置が延長になりました。市民生活や地域経済への大きな影響が続いています。地域の祭りや学校行事が次々と中止となる中、東京オリンピック・パラリンピックが開催されていますが、1都3県の会場は全て無観客での開催となりました。成功を願う一方で、国際大会だけでなく、子どもたちのその年齢の行事というものは、一生に一回のものだという市民感情も忘れてはならないと思います。本市としても非常事態であることを直視して、市民を支える取り組みを一番に考えて取り組まなければなりません。

5月の市長選挙で清水市長が再選されて、清水市政4期目がスタートしています。かつて前市長の長期政権を懸念していた清水市長は、同様の懸念を持たれないような市政運営をしなければなりません。新型コロナ対策だけでなく、庁舎移転問題など、本市誕生以来の課題解決へ向けた新しい市政を、市民は期待しています。また、市政施行20周年を機に市民憲章も制定され、新たな歴史のページが重ねられていきます。

そして、国際的な建築家であり、まちづくりの専門家である隈研吾氏を招いて、新たなまちづくりの取り組みが始まります。都心の魅力発信とともに、浦和駅周辺のまちづくりビジョンの策定に参画し、新たなまちの魅力の創造に着手します。積極的な議論がなされ、浦和が新たに生まれ変わるその時に、多くの市民や事業者が当事者として参加していくまちづくりを進めたいと考えています。

本年も大雨により熱海市や九州地方など、各地で被害が発生しています。心からお見舞い申し上げます。そして、まさかへの備えを、市民の皆さま方をお願いしたいと思います。

梅雨が明けても、まだ暑い日々が続きます。どうかご自愛いただきますよう、心よりお祈り申し上げます。

■昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型

■浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大商学部卒業。

■埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。

■平成27年(2期目)、平成31年(3期目)浦和区にて当選。

■まちづくり委員会(委員長) 議会改革推進特別委員会

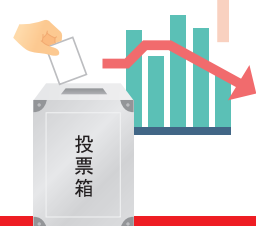


議会ごとに市政レポート発行(vol.44) 市政報告会開催(39回)継続中！

TOPICS

清水市長 4選・投票率は過去最低

5月23日投開票の市長選挙は、清水市長が4選を果たした。投票率は過去最低の28.70%。ワクチン接種や経済対策が議論となったが、課題である本庁舎移転に関しては積極的な議論が見られない選挙戦であった。



まん延防止等重点措置が 8月22日まで延長

7月11日までだったまん防が延長。飲食店への協力要請は、営業時間は午後8時まで、酒類の提供は県の認証店において1人又は同居家族のみの場合は午後7時まで。



隈研吾氏がまちづくりに参画！

隈研吾氏は、新国立競技場の設計をするなど世界的建築家であり、まちづくりの専門家。2都心の魅力発信、特に浦和駅周辺まちづくり将来ビジョン作成の主導的役割を担い、地域とともに浦和の将来を考えていただく。

(関係中面参照)



6月定例会より

6月9日から議案28本請願10本を審議し7月2日に閉会しました。新型コロナワクチン接種や感染症対応とともに、本庁舎整備及び現庁舎地の利活用に関する基本構想や浦和駅周辺まちづくりビジョン作成に関する予算などが議論の中心課題となりました。

【主な補正予算の内容】

1) 新型コロナワクチン接種事業

●区役所における集団接種事業経費 2,453,398千円

2) 新型コロナ感染拡大防止など関連事業

●保育所、放課後児童クラブ、幼稚園など子育て関連施設でのマスクや消毒液の購入など感染防止対策費 323,436千円
●無料定額宿泊所の個室化改修補助 11,883千円
●令和4年成人式補助、再会の機会開催費 41,481千円

3) 都心地区まちづくり本庁舎整備・現庁舎跡地利活用の検討

●「仮」浦和駅周辺まちづくりビジョン」骨子作成の有識者会議の設置 3,097千円
●本庁舎整備、現庁舎地の利活用に関する基本構想策定 9,966千円

4) 新型コロナ集団接種、職域接種などの推進

●既存特設集団接種会場の継続と会場の増設、コールセンターの通話料無料化、コミュニティバスの土日無料運行の継続など 7,261,937千円
●職域接種事業に関する商工会議所への補助金交付 75,000千円

※他に、生活保護業務における不適正な事務処理に関する第三者委員会設置、通所系事業所や訪問系事業所の従事者等へのPCR検査の実施など



小柳の視点

浦和のまちの将来ビジョンが描かれた後、それに沿って現庁舎の跡地活用について検討するのが筋です。なぜ、まちの将来像もない今の段階で現庁舎跡地の議論ができるのか、私には理解できません。しかも、市民意見を聞くと言いながら、タウンミーティングの終了前に素案を発表するという手続きも住民無視で賛同できません。ただし、補正予算議案に含まれている新型コロナ対策費などは緊急の課題であり必須であるため、当該議案には反対ではなく退席との採決態度としました。

まちづくり委員会より

さいたま市の公園改革始まる!

小柳よしふみは、まちづくり委員長として「魅力的な公園づくりから始まるウォーカブルシティ」を委員会の研究テーマとして1年間取り組みます。現状、禁止事項だらけで何もできない特長のない公園や維持管理費が満足に確保できずにただ管理するだけで精いっぱいの状況が見られます。もっと市民の幸せにつながる公園、地域の魅力向上につながる資源となるような公園づくりが必要です。公民連携(Park-PFI等)や公園の運営に関する市民中心の協議会の設置、公園の禁煙化の検討などは、すでに始めております。また、さいたま市議会初の委員会内オンラインによる研究テーマに関する講演会も開催しました。「公園改革元年」となるよう進めてまいります。



本庁舎移転問題

●合併協定書の存在をどう考えるか?

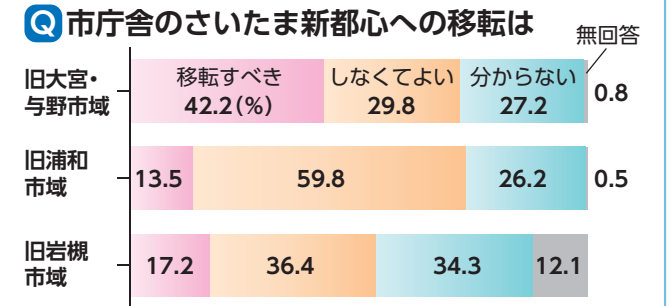
本庁舎の移転の議論の発端は、3市合併に際して2001年に作成された合併協定書にある。前号から引き続きのために詳細は省くが、20年以上前の約束に市民がどこまで縛られる必要があるのか?もちろん、自治会連合会長など市民代表も参加して21回を数えた本庁舎整備審議会からの答申を受けての結果ではある。しかし、これをどれだけの市民が知って、理解していたのか疑問が残る。日本で4番目に人口が増えている都市であり新住民も増えている。議員である私は、先輩議員を含む先人たちが合併の苦労の中で作成したものである点、尊重すべき立場であることは認識する。しかし、大事なのは現市民、未来の市民がどう考えるかという意味ではないのか。

●移転議論先行が対立を生む

先の市長選挙に際して、マスコミ各社が共同で市長選挙の投票状況とともに、庁舎移転に関する調査も行っている。右上表がその結果の1つである。全体としても移転に慎重な意見が多く、特に旧浦和市エリアにおいては反対が6割近くにも上る。まだまだ市民理解が足りない証拠ではないのか。本庁舎移転によりさいたま市がどうなるのかや、特に現庁舎がある浦和エリアの街の将来ビジョンが示せていないのであるから当然である。今ある施設がなくなるということは、市民には大きな不安や不満を引き起こす。本庁舎であれば地域の住民感情として当然であり、地域間対立になっている例も全国各地で見られる。

●浦和のまちの将来をどうするのか?

少なくとも本庁舎移転の議論をするなら、浦和地域の住民が将来に希望を持てる環境を作らなければ議論にならない。そもそも浦和エリアは、40年ほど前の旧浦和市時代の計画が進行しているだけで、さいたま市になってから地域のまちづくりビジョンが策定されていない。県庁は約66年、高砂小校舎も約50年、民間でもイトーヨーカドーが49年、伊勢丹・コルソが40周年となり、市民会館の移転した跡地活用など、官民含めてまちとして更新の時期を迎えている。さいたま市誕生以来20年間で、東日本大震災、カーボンゼロの世界的流れ、新型コロナ感染などにより、市民の価値観やまちづくりの考え方も大きく変化している。本庁舎の移転は浦和にとって一大事であるが、それが浦和のまちのすべてでもない。今こそ、しっかりとした浦和のまちの将来ビジョンが必要な時である。議論は、そこからだ!小柳よしふみは、まちづくり委員長として、浦和のまちづくりの将来ビジョン策定に全力を注ぎます。



隈研吾氏による浦和のまちづくりが始動!

浦和のまちづくり将来ビジョン策定へ

隈研吾氏ほか幅広い見識を持つ有識者や市民、事業者等により、浦和のまちの将来像を本年度から2年かけて創り上げていく。まずは、本年11月を目途にビジョンの骨子づくりが進められる。まちづくりの主役は、私たちです。隈研吾氏の経験や見識をどれだけ引き出せるのか、今後重要になる。隈研吾氏とのコラボが有意義なものになるよう努力したい。



隈研吾氏設計の国立競技場

